

時事問題演習Ⅳ

科目ナンバリング CAE-202
必修 2単位

李 燦雨

1. 授業の概要(ねらい)

社会人の必修教養とも言える時事問題に関する知識を培うため、春期の時事問題演習IIIに引き続き、国内外の政治・経済・社会の仕組みと流れについて学習します。

2. 授業の到達目標

- ①日本国内と国際社会の政治・経済・社会に関する諸問題について中級レベルの知識を修得する。
- ②時事問題に対する客観的分析と自分の見解が発表できる。

3. 成績評価の方法および基準

平常点(30%):授業への参加度
中間テスト(20%):試験
期末テスト(50%):課題発表

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容

週1回、新聞のニュースを確認し、自分が選んだ時事テーマを「個人時事ノート」に500字以内で整理してください。

6. その他履修上の注意事項

- ①必修科目なので全出席を基本とします。
- ②授業中にプレゼンテーション、書き写しなどを行うので積極的に取り組んでください。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション:時事問題を理解する方程式(LMSによる授業)
- 【第2回】 世界の課題(グループ討論形式)―個別調査課題の発掘
- 【第3回】 世界の課題(グループ討論形式)―個別調査課題の提示
- 【第4回】 国内政治①:青少年の選挙権
- 【第5回】 国内政治②:地方自治
- 【第6回】 国内経済①:新ビジネス
- 【第7回】 国内経済②:労働条件
- 【第8回】 国内経済③:税金とふるさと納税
- 【第9回】 社会問題①:犯罪
- 【第10回】 社会問題②:少数者の権利
- 【第11回】 その他の時事問題①:芸能とビジネス
- 【第12回】 その他の時事問題②:男女共同参画
- 【第13回】 課題調査の発表①
- 【第14回】 課題調査の発表②
- 【第15回】 総括と期末テスト